KSKR（土曜日）　第三種郵便物承認　通巻 8838 号　2022 年 11 月 14 日発行

KSKR 土曜日

NPO 法人つくし通信　№.６１号

目次

1.　表紙
2.～3.　サロン存続のための取り組み状況のご報告
・サロン利用者の声
4.　サロンご支援のお願い
5.～6　つくしハウス、こんなことやってます
＜外勤編＞
7.　食事提供/夏のボーナスキャンペーン報告
8.～9.　メンバーのつぶやき
10.　新メンバー紹介/冬のボーナスキャンペーン
11.　会費納入・寄付のお礼・お願い
12.　今後の予定・編集後記

サロン存続のための取り組み状況のご報告

前号の土曜ニュースで上京サロン「はんなり上京」の現状と今後の活動についてご報告をいたしました。おかげさまで、土曜ニュースで拝見してくださった方、夏のボーナスキャンペーンでサロンの状況を知った方などから、たくさんの応援をいただきました。

お礼の品つき寄付には１０８名の方からお申し出があり、294,000 円のご寄付が集まりました。お礼の品についてはご好評をいただいており、冬のボーナスキャンペーンでも引き続き取り組むことになりました。また、サロン支援を目的としたご寄付には個人の方が６名 173,000 円、２団体より 67,000 円、また、「上京区の小さな集い」に設置していただいた募金箱には市民の皆様から 9,055 円の募金が集まりました。つくしハウス利用者からも夏のボーナスキャンペーン売上より 8,500 円のご寄付をいただいています。

これまでのところ、**551,555 円のご寄付が集まりました。**心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、サロンの動きにつきましては、８月３日（水）「市内サロン運営懇談会」が開催され、京都市担当部署職員、他区サロン事業担当者が一堂に介し、現状を報告する機会がありました。当サロンとしましては、３区サロンが閉所となった影響で、行き場を失くした方が新たに利用を開始されていること、サロン運営を維持するためにサポート事業（訪問支援）にまで手を付けられていないこと、削減された委託費分（150 万円）を法人が負担し、法人自体の経営に影響していることなど報告しました。他区サロンからも委託費が削減され、人員体制が厳しくてサポート事業（訪問支援）ができていない状況が報告されました。私たちは、京都市に対し、サロン事業とサポート事業（訪問支援）両立の見直し、追加予算の要請、次年度の事業概要を年内に明らかにするように要望をいたしました。しかしながら、担当部署からは「今後の検討」との返答に留まるのみでした。

当サロン及び NPO 法人つくしは京都市に個別懇談を申し入れ、９月２日（金）に担当部署職員にこれまでのサロンの成果と意義について改めて説明をし、再度、当サロンの状況をお伝えしました。委託費削減分の追加補正を要請すると同時に、サロンが存続するための手立て等についても相談をしました。ただ、今回も具体的な回答は得られませんでした。

他、きょうされん京都支部機関紙「よいしょ」にもサロンについての記事を寄稿し、同じ志を持つ福祉事業所に現状について周知し、また、きょうされんが新型コロナ対策を市に要望する際に、サロン事業の運営維持を求める要望を盛り込んでいただきました。８月９日（火）にはきょうされん京都支部代表者とともに、つくしハウス施設長が京都市に対して、直接、要望いたしました。

新たに上京サロン存続を求めて、市民の声を京都市に伝える取り組み（署名活動）を始めることになりました。つくしハウス利用者・職員、サロン利用者や関係機関へ署名用紙を随時、届けています。10 月末には取りまとめを行う予定です。たくさんの声（署名）が京都市に届くよう現在、活動中です。

今後も上京サロン「はんなり上京」存続に向けての活動を続けてまいります。引き続き、皆さまの温かいご支援と協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

（上京こころのふれあい交流サロン事務局）

サロン利用者の声

上京サロンの利用者からも、サロン存続を願う声が寄せられています。このような声に応えることができるよう、活動を続けて行きたいと思います。

「僕らの行く場所がなくなるので、閉所にしてほしくないです」

（K．T）

「上京サロンで過ごす時間は、私の心の泉がわき出る時間だ。雑談を耳にしながら、思考の世界に浸る。それは大切な時で、明日の生活の指針になったりする。だから、サロンがないと、生きる活力を失ってしまう」

（中川　博）

精神に障がいを持つ市民の居場所を守りませんか。

あなたのご支援（ご寄付）が必要です。

「京都市こころのふれあい交流サロンはんなり上京」（以下、上京サロン）は、

孤独な気持ちを抱える方、生きづらさを感じている方、精神に障がいを持つ方々が居場所としている場所です。

長年、上京サロンは、お茶やコーヒーを飲みながら、暮しのこと病気のこと、気になることなど、気軽に会話を楽しみ相談してもらうことで、「１人じゃない」「社会と繋がれている」と実感してもらい、一人ひとりの地域での暮らしを支えてきました。

そんな上京サロンが**存続の危機**にさらされています。

2022年度、京都市から財政難を理由に、「こころのふれあい交流サロン事業」委託費が大幅に削減されてしまい、家賃分の 150 万円が支払えない状態になりました。

他区サロンの中には削減額に耐え切れず、撤退してしまったところもあります（３カ所）
上京サロンは、利用されている方々の居場所を守るため、この難局を乗り切りたいと考えています。
そんな上京サロンに、あなたのご支援（ご寄付）をいただけないでしょうか。

ご支援（ご寄付）をいただける方法は下記の通りです。
＜郵便振替＞赤色伝票（手数料加入者負担）をお使いください。
口座記号・番号「00960-2-155309」
加入者名「特定非営利活動法人つくし」
※通信欄にお名前、ご住所、電話番号をお書きください。

＜直接お持ちいただく場合＞
〒602-8141
京都市上京区堀川通丸太町上ル上堀川町 114 相模ビル
特定非営利活動法人つくし　つくしハウス
TEL075-366-6064　Fax075-366-6065
※事前にお電話をお願いします。

あなたのあたたかいご支援（ご寄付）お待ちしています。

つくしハウス、こんなことやってます♪

☆外勤編☆

　つくしハウスで日々行っているいろいろなお仕事。前回の内勤編に続き、今回は外勤編としてお送りしたいと思います。つくしハウスから外へ出て、いろいろな人と関わりながらする外勤のお仕事、つくしハウス内とはまた違う、大変さや面白さがあるのではないかと思います。今回も、メンバーさんの声をまじえてご紹介します。

＜上京サロン＞

　つくしハウスのすぐ近く、堀川丸太町交差点を西に行ったところにある、ファミリーマートのあるビルの２階にある「こころのふれあい交流サロン“はんなり上京”」。そこでつくしハウスのメンバーさんが、お客さんが注文された飲み物を出したり、会話をしたりして、お客さんにリラックスしてくつろいでもらえる空間を提供しています。

- お客さんの注文を聞いて、話をして…最初は緊張しましたが、今は慣れました。お客さんがサロンでくつろいでくれたらいいなと思います。
- サロンスタッフとして入って３～４年。だいぶリラックスしてお客さんと会話出来るようになりました。忙しい時もなるべく座らず立って行うことで、病気になった身体のリハビリにもなっています。
- そんなに難しさは感じてないですが、お客さんに楽しく過ごしてもらえるように、動きよくしたいと思っています。
- サロンで楽しいのはお客さんとの会話です。楽しくリラックスできています。
- 安くで食べられたり飲んだり出来るのは上京サロンの魅力です。ゲームや将棋も楽しめます。ぜひみなさん来てください。

＜喫茶ぴあ＞

烏丸丸太町にあるハートピア京都の１階で行っている喫茶事業です。京都ほっとはあとセンターさんの協力のもと、現在５つの障害者支援事業所が共同で運営を行っており、つくしハウスは毎週金曜日と隔週木曜日に担当しています。コーヒーやケーキを作ってお客様にお出ししたりと、緊張や難しさもありますが、みなさんとてもやりがいを感じておられるようです。

- 注文された物を持って行った時に、お客様に「ありがとう」と言って頂けるとすごく嬉しいです。
- 失敗する時もあるけど、楽しいです。ありがとうございます。
- ぴあに入って、働くきびしさや働くことの意味がわかってきたかな？すぐ何もかも忘れるからメモするが、すぐに忘れてしまう。きびしいなあ。
- ぴあの当番は、週に１回ですが、健常者とあまり変わらない仕事内容なので、自信にもなり充実している感じです。
- いつも明るく元気に接客が出来るように、楽しく働ける。日々の生活に気をつけながら、マナーを守ってお客さんに気持ち良くしていただくために、はっきりと言えるようになりたいです。
- ぴあで働いてみて、充実感があり、やりがいもありました。これからも、やってみようと思います。

「内勤編」「外勤編」と２回にわたり、つくしハウスのお仕事紹介をさせていただきました。特に今回は、実際に働いているメンバーさんの声をたくさんお届け出来たのではないかと思っています。ただ、つくしハウスで行っているお仕事は、これら以外にもまだまだあります。またの機会に、それらのお仕事も、メンバーさんの声と共にお届けしたいと思っています。お楽しみに(^^♪

食事提供

つくしハウス内では、この何年か利用者の健康意識に関するアンケートを行なってきました。結果として、皆さん食生活に偏りがある事、健康診断を受ける機会が少ない事がわかってきました。事業所として、例年利用者の皆さんには健康診断を勧奨してきましたが、昨年度からは、それまで以上に健康診断を受けやすいよう、事業所からの健康診断費用助成を手厚く整備しました。そして、今年度、９月から事業所内での給食の提供を開始しました。提供している給食は管理栄養士が栄養のバランスを考えて献立を作成しており、負担額も安価に設定しています。典型的な施設給食のような味付けが薄いものではなく、しっかりと味もついています。まだまだ提供を開始したばかりですが、継続して食べてもらう事によって、どんどん健康になっていただきたいと思っています。

（福田）

2022 夏のボーナスキャンペーンご報告

2022 夏のボーナスキャンペーンにご協力いただきまして誠にありがとうございました。今回は 180 件のご注文をいただき、売上額は￥2,169,166 となり、昨年の夏を上回る売り上げとなりました！

また今回は、通常の商品に加え、「サロン運営支援寄付付き商品」にもたくさんのご注文をいただきました。つくしハウスのメンバーさんだけでなく、こころの病を持たれたすべての方への、皆さまのご支援のお気持ちを感じました。本当にありがとうございました。

（福万）

メンバーのつぶやき

「私と京都と病」その二　　Ｈ・Ｎ

私がまだ、精神病への認識が浅かった頃、百万遍近くの病院に通っていた。
その病院の医師から、島崎藤村の「破戒」を読むように薦められた。部落をテーマにした作品とは知っていたが、読んでいなかった。私は何故、その小説を奨められたのか分らなかった。その意味は病気への認識が増えてゆく事で分ってくる。
精神病に対する差別と、無理解は深刻なものだった。その小説の主人公が、部落民であることを「隠せ」という戒を破り、生徒の前にひざまづいて、素性を明らかにし、あやまる――そこまで卑下するのをニガニガしく思った。
私は鈍感なのか、そこまで切羽つまった現実に出くわさなかった。いや、世間は私が感じる以上に差別の目で私を見ていたのかも。私は生きづらさがあるなら、仲間とともに、文章化してゆくのもいいと、思う。

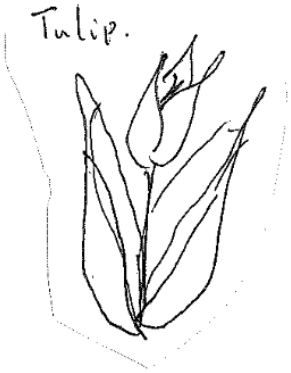
「コロちゃん都々逸　その十八」

中川　博

〇Ｙの字創って流れる川の
　股の部分に寝ころびて

〇この世は所詮はかないものと
　あなたの罪をも許る我

〇老いて想うは次の世暮し
　ハスの台座はイヤだけど



酢豚

皐月

棒棒鶏

皐月

餃子

皐月

天津飯

皐月

春巻き

皐月

回鍋肉

皐月

食欲の秋

中華で。

八宝菜

皐月

新メンバー紹介

　つくしハウスに、新たなメンバーさんが加わりました。これからどうぞよろしくお願いいたします！

８月末から３階で働いている KF と言います。
３階のみなさんに見守られ、働かさせていただいています。
今は、なれるのがやっとの事で、毎日リズムをこしらえることにやっとです。
こんな私ですが、皆さん私をあたたかく、見守ってくだされば――と思います。
これからもよろしくお願いします。

KF

2022 冬のボーナスキャンペーン、始まりました！！

　夏のボーナスキャンペーンが終わったと思ったのもつかの間、早くも冬のボーナスキャンペーンが始まりました(笑)お客様からも、カタログをお渡しする際に「え、もう次のキャンペーン？(笑)」とのお声をたくさんいただいております(笑)
　今回もたくさんの魅力ある商品が並んでおります。また、夏に引き続き「サロン運営支援寄付付き商品」も載せさせていただいています。
　注文締め切りは 11/29（火）となっております。皆さまからのご注文、心よりお待ちしております。よろしくお願い致します。

（福万）

★いつもご支援、ご協力いただき、誠にありがとうございます★

★2022/7/1～2022/9/30 までにご協力して頂いた方です。（順不同）★
★総額￥７５，３６０★

正会員の皆様	賛助会員の皆様	ご寄付・物品を頂いた皆様
椿恒雄様/南下建一郎様/つくしハウスご家族の皆様/他	坂口雅美様/吉田一生様/井上ひろみ様/萩原三義様/大島なな子様/つくしハウスご家族の皆様/他	南下建一郎様/茶谷直様/大野研而様/上京診療所様/外村晋一郎様/津田尚子様/汐崎啓子様/奥西豪様/中村康彦様/三木一弘様/髙城佳代子様/つくしハウスご家族の皆様/他

※賛助会費を頂いた方で正会員の方につきましては、本号よりご寄付として掲載させて頂いています。ご了承下さい。

★2022/9/30 までに、上京サロン存続の為のご寄付を頂いた方★(順不同)

円応教様/長橋晴男様/橋本東代子様/福嶌美和子様/遠山照彦様/髙城佳代子様/余根田保様/七野会様/夏のボーナスキャンペーンにてサロン支援をして頂いた方々/他

※寄付金総額については、２ページに記載させて頂いています。

2022 度　ＮＰＯ法人つくし　正会員費・賛助会費納入
ご協力のお願い

ＮＰＯ法人つくしの財政は、皆様方の温かいご協力とお力添えにより支えられています。この場を借りて心からお礼申し上げます。正会員費・賛助会費の納入にご協力をお願い致します。

正会員費　2,000 円（年間）	
賛助会費　1,000 円（一口）	

※同封の振込用紙をご利用ください。口数、金額をご記入頂けますようお願い申し上げます。

また、『土曜日』にご氏名を掲載することがございます。お手数ですが、（可・不可）のいずれかに〇印をつけて頂ければ幸いです。

記入例：正会員費　年会費（年 2000 円）１口　￥2,000、
賛助会　会費（１口 1000 円）１口　￥1,000　寄付金￥2000 など

※すでにご協力頂いている方につきましても、振込用紙を同封させていただいておりますので、ご容赦ください。誠に勝手ばかり申し上げますが、ご寄付を頂ければ幸いと存じます。

＜今後の主な予定＞

11 月 21～25 日　上京サロン文化祭　※11/23(水)は定休日
11 月 29 日　　冬のボーナスキャンペーン注文締め切り
12 月 15 日　　冬のボーナス支給

NPO 法人つくし　つくしハウス
〒602-8141　京都市上京区堀川通丸太町上る上堀川町 114
TEL　075-366-6064　FAX　075-366-6065
Email　onikai@iaa.itkeeper.ne.jp
HP　http://tsukushihouse.org/

上京こころのふれあい交流サロン
〒602-8148　京都市上京区丸太町通堀川西入西丸太町 185 番地
京都二条ハイツ 202
TEL/FAX　075-755-7017

編集人　NPO 法人つくし
〒602-8141　京都市上京区堀川通り丸太町上る上堀川町 114
発行人　関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺真田山町 2-2　　東興ビル４階　　定価 50 円

＜編集後記＞

今号では、上京サロン存続の為の取り組み状況の報告をさせて頂きました。皆さまからのあたたかいご支援を力にして、障がいのある方の生活の場を、守っていく努力を続けて行きたいと思っています。（福万）